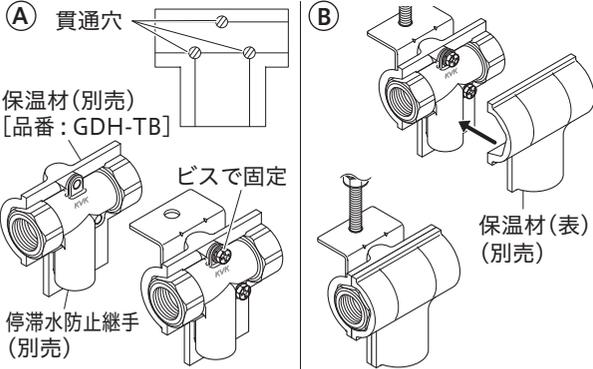


❗ 樹脂管にて施工する場合は、樹脂管の固定をしてください。（転がし配管は厳禁です）

停滞水防止継手に保温材を使用する場合

- Ⓐ 保温材(裏)の3箇所をドライバーで穴を貫通させます。保温材(裏)の粘着フィルムをはがし、本体に貼り付け後、ビスにて停滞水防止継手をステーに固定します。
- Ⓑ ステーを全ねじボルトに取り付け後、保温材(表)の粘着フィルムをはがし、停滞水防止継手に貼り付けます。



図の停滞水防止継手は、GDTB-C3C1C3です

保温材 [GDH-TB] は、GDTB-C4C1C4には使用できません

- ① 停滞水防止継手(別売)に配管継手(別売)とスプリンクラーヘッド(市販品)を取り付けます。

❗ スプリンクラーヘッドの取り付けは、スプリンクラーヘッドの取扱説明書に従ってください。

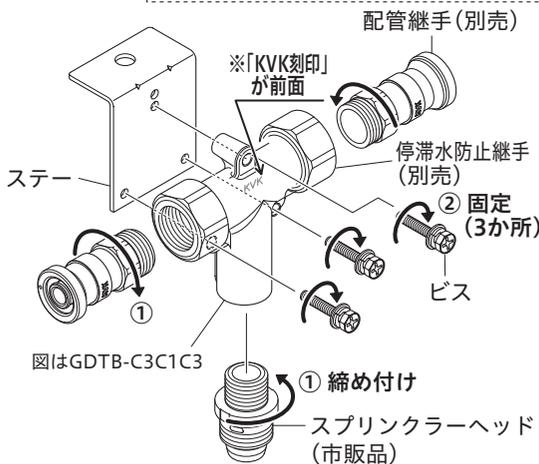
❗ スプリンクラーヘッド締め付け時(脱着時)に、ステーの共回りを防ぐため、最初に取り付けてください。

- ② 停滞防止継手(別売)をステーにビス3箇所固定します。

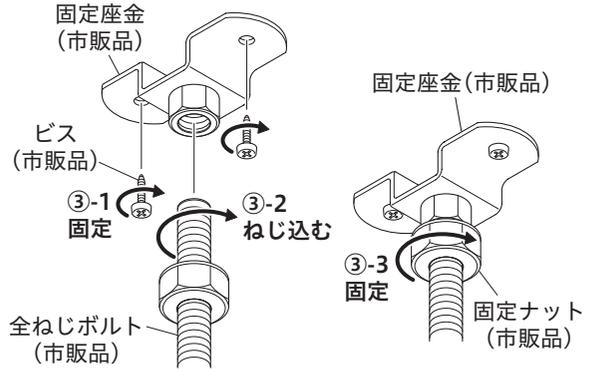
停滞水防止継手に保温材を使用する場合はⒶを参照

接続例

- ネジ込式継手 架橋ポリエチレン管の場合 品番：GDOA-20R3等
- ファスナー式継手 架橋ポリエチレン管の場合 継手品番：GDFA-20F3等 ファスナー品番：GDJF3等

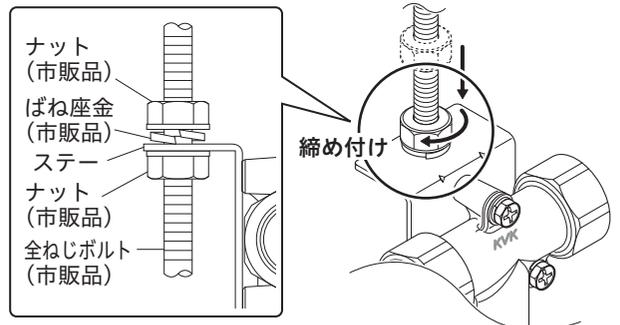


- ③ 固定金具(市販品)をビス2か所(市販品)で天井に取り付けます。全ねじボルト(市販品)を固定金具に強固にねじ込み、固定ナット(市販品)を締めあげ、固定座金(市販品)に固定します。
※ ねじサイズはW $\frac{3}{8}$ を使用してください。



- ④ ばね座金(市販品)、停滞水防止継手付きステー、ナット(市販品)の順で全ねじボルト(市販品)に下側より通します。高さ、位置を調整後ナット部分を強固に締め付けます。
【お願い】 ステーが動かないことを確認してください。

停滞水防止継手に保温材を使用する場合はⒷを参照



- ⑤ 配管取り付けを行った後、再度ステーが動かないことを確認してください。天井仕上げ後、スプリンクラーガード(別売)の取り付けをしてください。

寸法図

品番	A	B	C
GDTB-C3C1C3	38.5	60	Rc $\frac{3}{4}$
GDTB-F3C1F3	38.5	60	-
GDTB-C4C1C4	41.5	100	Rc1

